

定 例 会 議 会 議 録

開 催 日 時	令和6年4月10日（水）午前10時00分 ～ 午後0時00分	
開 催 場 所	特別会議室、公安委員会室	
区 分	『 全 体 会 議 』 議 題 ・ 要 旨	主 管 部
【 報 告 事 項 】	1 山岳遭難の現状と対応について 昨年の県内の山岳遭難発生件数は、過去5年間で最小の20件であった。過去5年間の遭難の特徴としては、登山目的が全体の6割を占めており、月別では5月と10月に多発し、全体の約4割を占めている。また、年齢別では70歳以上の高齢者が全体の約4割を占めている。 山岳遭難への対応としては、昨年5月に、遭難者の早期発見に活用するため、登山届データの閲覧や遭難者位置情報の取得に関する協定を登山アプリ会社「ヤマップ」と締結している。 また降雪時や悪天候の際に、高度な搜索救助技術が求められる山岳遭難に対処できるよう、昨年山岳遭難特別救助隊を創設した。そのほか、山岳遭難防止協議会との合同搜索救助訓練の実施や、山開きの時期に合わせた登山届提出を呼びかけるキャンペーン等の広報啓発活動を実施している。 今後も引き続き、遭難者の早期発見救助に向け、一層の錬度向上を図っていくとともに、広報啓発活動による山岳遭難の未然防止に努めてまいりたい。 委 員：過去5年間で最小となった理由が分かれば教えていただきたい。 地域部長：4～5年前の数とほぼ同等となっており、コロナ禍で密を避けるため、登山やハイキングをする方が増えていたのでは、という認識である。 委 員：昨年度ヤマップのアプリを利用し、救助された方はいるのか。 地域部長：アプリ利用でGPSにより位置が特定でき、無事に救助された案件は1件である。 委 員：登山届を提出している方は、どのくらいの割合か。 地域部長：令和5年の遭難者数22名のうち、登山届を提出していたのは4分の1であった。広報活動は行っているものの、まだ行き届いていないという現状である。 委 員：くれぐれも二次災害などに留意しながら、引き続き、広報にも努めていただきたい。	地 域 部

区 分	『 個 別 審 議 等 会 議 』	
【 決 裁 事 項 】	1 苦情の再度の回答要請及び再通知案について 2 保有個人情報開示請求書の受理及び保有個人情報の開示をする旨の決定について（2件） 3 人事異動に伴う代理人の変更について（2件） 4 審査請求の受理について	総 務 課 総 務 課 監 察 課 監 察 課

【 報 告 事 項 】	5 地域交通安全活動推進委員の死去及び新規委嘱の上申について	交 通 企 画 課
	6 道路交通法の規定に基づく意見の聴取等	運 転 免 許 課
	1 公安条例許可申請について(令和6年3月分)	警 備 課
	2 小型無人機等の飛行に関する通報について(令和6年3月分)	警 備 課